

むつ市議会「議会報告会及び市民との意見交換会」報告書

報告会名称	第4回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第 4 班)
開催日時	平成28年11月 6日(日) 午後 14時00分 開会 午後 16時00分 閉会
開催場所	大畑公民館
出席議員等	原 田 敏 匡 岡 崎 健 吾 大 瀧 次 男 富 岡 幸 夫 中 村 正 志
参加人数	4 名
報告内容	① 第229回定例会の議案審議内容 ② 平成27年度むつ市各会計決算の審議内容
報告に対する 質疑・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況が厳しいのならば、この議会報告会に用意されている配布物も見直す必要があるのではないか。内容は「広報むつ」をコピーしただけのものであり、開催案内に「広報むつ」を持参するよう明記すれば印刷代の削減になる。 ・決算の数字だけでは無く、予算の数字と対比させなければどのような財政運営がなされているかチェックのしようもないのではないか。「広報むつ」に載っている円グラフの項目だけでも対比させた資料を用意して欲しかった。 ・危機的な財政状況ならば水道料金の徴収等、一カ月単位ではなく、二ヶ月単位で合算し徴収した方が銀行等の手数料が半分となり合理的かつ節約となるのではないか。 ・ふるさと納税は特典等の歳出分を除くと、どの程度市の利益となっているのか。また、むつ市から他自治体へのふるさと納税はどの程度あり、マイナスとなっていないのか。

<p>意見交換内容 (主な意見・ 要望等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校となった大畑高校の活用方法として下記が挙げた。 ⇒立地条件、築年数、ネット接続等のインフラが整備されている、グラウンドをヘリポートとして利用出来る等の利点から災害時の避難所として、また、原子力施設災害時の拠点として。 ⇒大学等のスポーツ合宿に活用出来るのではないかな。 ⇒農業を通じた引き籠りの更生施設としての活用。 ・旧小目名小学校を菓研の観光客向けにバンガローとして活用出来ないかな。 ・廃校となった小学校の空き教室を高齢者に開放出来ないかな。 併せて、高齢者向けの学習の機会が欲しい。 ・廃校を町内会に無償譲渡出来ないかな。 ・大畑海水浴場に釣堀を設置すれば観光客が増加するのではないかな。 ・他自治体の地方総監部のように海上自衛隊と協力し観光客誘致に繋げないかな。 ・現在までの企業誘致状況を見る限り、むつ市は一次産業と観光で潤すしかないのでは。 ・他自治体から年金生活者の移住を増やすことがむつ市のためにならないかな。 ・高齢者を郊外から中心地へ住まわせるべきじゃないかな。
<p>記録者所見</p>	<p>大畑会場に参加した4名の皆さんは過去にも参加した経験があるようで、今回の意見交換会のスタイルには非常に好感を持って頂き、「このやり方であれば今後参加者も増えるのでは」と言った前向きな意見も頂いた。テーマについても「行政頼みにするだけではなく、まず我々大畑町民が主体性を持って町内会等を巻き込んでアイデアを出し合い、地域に合った活用方法見出さなければならない」と参加者同士で意見が交わされ、今後の展開が楽しみである。</p> <p>反省点として、議会報告を「広報むつ」に記載されている内容で終わることなく、議会としてより一歩踏み込んだ説明と資料を準備する必要があると感じた。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 <u> 原 田 敏 匡 </u></p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会の実施に関する規程第10条第1項により提出します。

平成28年11月10日

代表者 大 瀧 次 男 ㊟